

2019年度 活動報告

I・高槻の高齢社会をよくする会

[総会]

5月25日(土)午後2時より第17回定期総会が開催されました。会員数233名中、出席者46名委任状提出128名で総会成立。2018年度の活動報告と決算報告、監査報告に続き、新しい理事と監事の承認、2019年度の活動方針と予算が認められました。なお13年間代表理事を務めた山本洋子が代表を辞任し、中越優が新代表になりました。

総会後は、都山流尺八大師範の青柳映山先生、琴の生田流飯田理恵さんと会員の坂東君子さんによる邦楽の演奏が行われました。宮城道雄の「春の海」「千鳥」「千代の寿」「さらし風手琴」を始め、尺八での「アメイジンググレイス」がさすがプロの演奏と堪能しました。

[運営委員会]

毎月第3土曜日午前に開催しました(8月のみ休み)。新メンバーも一人加わり理事会の方針に基づいて、16名の委員により年間の諸行事を企画し、実施しました。お便りも発行しました。行事のある月は1日中の拘束なので感謝の気持ちとして昼食が出ます。

[理事会]

理事会は2回開催しました。

[井戸端会]

塚原ブロック 塚原集会所 毎月第2火曜日 13:30~15:30 担当 吉田和子
手芸作品を作りながらおしゃべりを楽しんでいます。

南平台ブロック 南平台集会所 毎月第3火曜日 13:30~15:30 担当 中越洋子
おしゃべりに花が咲いています。知らなかった地域情報、自分の事や病気のこと、豊富な体験や知識を披露して止まりません。余裕がある時は軽い体操で身体をほぐし、ウクレレ伴奏で懐かしい曲を楽しんでいます。

[行事・活動報告]

7月20日(土) 拡大井戸端会議その2「老人ホーム・入所介護施設を知ろう」
13:30~15:30 参加者45名(送迎12名)

長寿サポートサービスの檜山さんと西滝さんが、体験を交えて詳しく話して下さいました。

この日スタッフと委員を除いて22名の方がアンケートに答えて下さいました。非常に良かったと答えた方が11名もあり好評でした。「健康寿命が大切、超高齢の方の体験が聞きたい」の声があり、後にこの企画はお便りで報告されました。

10月7日(日) NPOフェスタ 会場 高槻市役所内

展示は「よくする会」の活動をコンパクトにまとめたもの、街かどデイのメンバー

が書いた「こんな高槻になってほしいな」を書いたリング型のカードを貼ったものを紹介しました。6名の運営委員が「いきいき会」との共同の喫茶店で店番をし、150人分のコーヒーを提供しました。

11月30日(土) よくする会祭り 11:30~14:30 参加者 61名
落語寄席で「千里家一福」と「だんご家みたらし」さんの二人が熱演。

恒例のトン汁・うどん餃子・巻きずしと稲荷寿司・隼人瓜のおかか和え・コーヒー、シュークリームなど堪能しました。うどん餃子のレシピを持ち帰った人も。

10月18日(土) ふるさと高槻を知ろう その5 13:30~15:30 参加者 40名
「高山右近後の高槻城主 永井家の盛衰」と題して、毛利元久さん(高槻文化財スタッフ)に90分に亘ってお話し頂いた。秀吉や家康に仕え、大身の旗本として西国支配の要職や高槻城主を幕末まで果たしたとの事。講演の後は温かいおぜんざいをいただきました。

[ありんこの会] 担当 中越洋子 他

利用者数35名を支援者17名が担当しました。年間総活動時間は357時間でした。地域包括支援センターからの相談が6件、また市から出されている生活支援ガイドを見ての相談も数件ありましたが、実際に対応できたのは5件でした。初めての利用される方が増えたように感じます。時間的には将棋の相手、剪定、草取り、掃除などが多く、回数的には定期的なゴミ出しが昨年同様に多かった。

支援者が固定しやすい傾向がありますが、今年は「はむろ」のスタッフの方が少しずつではありますが活動しました。

また社会福祉協議会の協力を頂き、新たに男女2名の支援者の申し出があり嬉しいことでした。外部の看護管理者対象のセミナーで、地域における実践事例報告の要請を受け発表しました。これから益々求められる地域での相互援助を考えていく上で、参考になったとの声を聞きました。今後も様々なお困りごとに“お互いさま”の精神で関わっていききたいので“来たれ、支援者!”をお願いします。

[認知症を理解し地域で支える会への支援]

毎月の定例(運営委員会)と行事实行委員会に4名のよくする会会員が参加し、年2回の「認知症の人と家族のための情報交流と相談会」に参加しました。いつも沢山の認知症の人と家族が交流し、学び合います。3月の相談会は新型コロナウイルスのため中止になりました。9月の研修会「地域で支える服薬介助」に参加し、医師や薬剤師、ケアマネなど他職種と交流しました。

[ほっこりカフェ氷室への支援]

毎月第4金曜日の10時より氷室町のバプテスト教会にて、認知症の人と家族・支援者が集まり、皆で食事を作って一緒に食べます。全員に役割があり、食べる楽しみは最高のご馳走です。世話人には、よくする会会員から6名参加しています。

[よくする会だより] 担当 石田千賀子 他

第67号~第69号を発行して皆様にお届けしました。

[ホームページ]

アドレス <http://www.hamuro.org>

担当 中越 優 他

情報公開を大切に考えています。法人活動と他団体との協働事業の全てをできるだけ写真を使って報告しています。つどいの家「はむろ」の利用を考える家族、ボランティア活動等を考える人、当法人に関心のある人などホームページを見る人が増え、写真等が多くて楽しい様子が良く分かるとの感想です。

NPO は情報公開が命ですので、総会報告内容はもちろん、各活動の詳しい報告、介護事業所「はむろ」スタッフの紹介や楽しいものまで、情報公開に努めています。

[2019年度 ご寄付者名（敬称略）]

雨森侑子、岡ヤヨイ、片田武敏、近藤シゲキ、斉藤俊正、杉本隆、城月澄子、高橋多恵、坂東君子、中務輝雄、中越優、前田吟子、安福佳子、山本洋子、吉田静子（五十音順）その他多くの匿名の方々。多額の寄付や物品のご寄付も頂いております。たくさんのご寄付ありがとうございました。

「よくする会」の活動が皆さまのご寄付により支えられている事を心より感謝申し上げます。

II・つどいの家「はむろ」活動報告

[事業報告]

担当 吉原暁子

介護業界の経営は、つどいの家「はむろ」に限らず年々厳しくなる一方です。平成 23 年に創設された介護職員処遇改善加算に加え、昨年 10 月消費税率が上がったことにより全職員向け特定処遇改善加算も新設されました。しかし現状は厳しく、デイサービスの利用者の減少（ショートステイ利用の増加、施設入所、コロナウイルスの影響）、訪問介護のヘルパー不足、居宅支援の伸び悩み等の理由で収益は低迷し、頭の痛い状況です。

デイサービス、ケアマネ、事務などのスタッフの出入りも多少ありました。新しいスタッフ（デイやヘルパー）を募集しても、なかなか応募がないのが現実で、今後の課題になると思われます。

自動車保険の会社からの提案で送迎車 4 台にドライブレコーダーをレンタルしました。責任者の黒柳厚雄さんが折に触れてドライバーさんに安全運転を呼び掛けて下さることもあり、今年も事故もなく安全運転でいけました。

現在使用しているパソコンを windows10 に変更するために、9 台すべてをリースに変更。長年使用しているエレベーターも経年劣化による部品の交換等設備の老朽化も進み、いろんな意味でのリニューアルの時期であることを実感しています。

唯一の朗報は 12 月に日本財団から送迎車の寄贈が決定したことです。12 年間大切に使用してきたセレナがもう限界と思っていた矢先でほっとしています。4 月から新しいセレナの活躍です。

来年度はもう少し明るい報告ができるよう、スタッフ一同頑張っていきたいと考えています。

[ボランティア]

担当 丸山けい子 他1名

今年度もたくさんのボランティアさんに支えていただき、1年を事故なく無事に終えることが出来ました。ボランティアさんが来て下さることで、スタッフにゆとりが出来、よりよい介護につながっておりますことを感謝申し上げます。

個人登録（月～金曜日のデイでのお手伝い、囲碁、将棋の相手）14名、のべ435回。団体登録（演芸 詩吟 歌 楽器演奏 踊り 朗読など）16組のべ70回と、多くの方々が来て下さいました。

2020年に入り、新型コロナウイルスの影響で、一芸ボランティアの皆様には申し訳ありませんが、2月、3月はお断りをしました。これらのボランティアの方々が来て下さらないことでプログラムが少し寂しく、又スタッフの負担も大きく、ボランティアの皆様の有難さを再認識しました。

ボランティア交流会は9月14日（土）に、三波さんのおいしいカレーを頂き、イベントはアトム健児さんを迎え、バルーンアート、ジャグリング、その後ゲーム大会を行いました。

来年度もたくさんのボランティアの方々をお待ちしております。

[街かどデイハウス]

担当 松井史枝 他4名

この1年は、高槻市の方針に基づき介護予防に重点をおいた活動を行いました。

デイの皆さんと一緒に「はむろ体操」をしっかり行った後に、街かどの方だけでプラスして「ますます元気体操」を行いました。足腰の衰えを補う効果があると思っています。また、認知症予防を目的に、手先を使う四季折々の作品作りにも取り組みました。

高槻市が発行している記録手帳「健幸パスポート」も活用し「はむろ」でもスタンプを押しています。達成者に高槻市からフェイスタオルが記念品として贈られましたが、皆さんそれを寄付して下さいました。新年度よりタオル体操に使わせていただこうと思っています。

新年度も、介護予防、認知症予防に役立つ活動を心掛けたいと思っています。

[地域密着型通所介護（デイサービス）]

担当 山本美子 他10名

今年度も「はむろ」は元気な活気のあるデイサービスでした。身体や頭の体操も毎日の決まったプログラムとして定着しています。午後には「今日は何するの？」と待っておられる利用者さんの思いに沿うよう考え、身体の機能の衰えを防ぎつつ、楽しんで出来るプログラムを工夫しています。

認知症の方が少しずつ増えてきています。その方々にとってより良い介護ができるようにと、今年度からスタッフの勉強会をスタートしました。認知症ケア専門士のナースと認知症介護実践研修を終えたスタッフ2名が中心です。センター方式を使い、認知症の人の思いや生き方などを色々な視点からとらえ、介護の方法やアプローチの仕方などを皆で考えます。今年度は二回開催しました。このことはスタッフの介護力向上に大いに役立っていると思います。来年度も引き続きより深い勉強が出来るようスタッフ一同努力したいと思っています。

[訪問介護(ヘルパー派遣)]

サービス提供責任者 黒柳秀子 他 9 名

昨今、ヘルパーの高齢化などの理由で訪問介護の危機が度々話題に上がることが多くなっています。はむろもその限りではなく、ヘルパーを募集しても集まらず、今働いてくれているヘルパーさんも高齢化してきています。サービス提供責任者もしかり。

そんな中、去年 12 月にヘルパーさんにアンケートを取りました。その内容は①2020 年度もはむろのヘルパーとして仕事を続けて下さいますか?の問いかけには続けたいと全員が答えられました。②続けたいと答えられた方に、今の仕事量についてはどうですか?の問いかけには今ぐらいが丁度良いと答えられた方が殆どでした。

上記のアンケートの結果から、ヘルパーとしての仕事はやりがいもあり、続けていきたいが、無理はできないと皆さんが考えているのが分かります。これらの結果を受け、訪問介護の今後を考えた時に、利用者様のためにもヘルパーの生きがいのためにも、続けていくことの大切さを改めて考えさせられました、

[たすきの会]

担当 黒柳秀子 他 9 名

去年まで定期的に利用されていた認知症の方の見守りと排泄介助の方のサービスが無くなり、たすきの会の件数がぐっと減り、今は 2 ケース程です。

[居宅介護支援(ケアプランセンター)]

担当 不破直子 他 2 名

現在 3 名のケアマネジャーが約 50 ケースの支援を行っています。

デイサービスを利用しながらショートステイの利用も多くなってきました。理由としてご家族様も高齢となり、体調不良や住環境の問題等が挙げられます。問題が生じた場合は的確な助言ができるようご利用者様やご家族様、各事業所と話し合いを行い、一緒に悩み問題解決をしています。

今後もより良いサービスが提供できるよう日々意見交換をし、研修会などにも参加して向上していきたいと思っています。

[スタッフ会議]

管理者ミーティング 毎月第 3 木曜日

スタッフミーティング 毎月最終金曜日

デイサービス及び街かどデイハウス、居宅介護支援と事務のスタッフ、訪問介護の常勤者が参加。情報交換や研修を行い、最終意志決定機関となっている。

ヘルパーミーティング 毎月第 4 木曜日 ケースカンファレンスや研修を随時実施

デイミーティング 毎月第 2 金曜日

プログラムミーティング 毎月 1 回 (不定期)

ケアマネミーティング 毎月 1 回 (不定期)

ナースミーティング 毎月第 2 火曜日

メニュー会議 「いきいき会」と年 2 回昼食メニューの検討

その他、防火訓練 (7 月 26 日実施)、訪問ケースカンファレンス、送迎ミーティングなどを随時行った。